



発行所 財団法人兵庫県消防協会 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号 編集発行人 岸谷義雄 定価 1部44円 (購読料は分団金に含む) 題字 井戸知事

「消したかな」 あなたを守る 合言葉

平成二二三年度 日本消防協会定例表彰式

平成二二年度日本消防協会定例表彰式が、二月二十四日(木)午後一時より日本消防会館ニッショーホールにて盛大に開催されました。

の祝辞、受章者代表謝辞があり、万歳三唱により閉会しました。なお、本年度は小野市消防団の小林団長(県副会長)が栄えある特別功労章を受章しました。

功績章 四二名 精積章 一〇四名 勤続章 一六〇名

特別功労章 一名 表彰旗 一団 竿頭級 三団

功績章 四二名 精積章 一〇四名 勤続章 一六〇名



平成22年度 日本消防協会定例表彰式



特別功労章を受領する小林団長

Table listing award recipients by category: 功績章 (Merit Medal), 精積章 (Diligence Medal), 勤続章 (Long Service Medal), 特別功労章 (Special Merit Medal), and 表彰旗 (Award Flag). Each entry includes the recipient's name and their affiliation.

平成二二年度 全国消防団員意見発表会・消防団等地域活動表彰式 及び消防団協力事業所表示証交付式開催

総務省消防庁主催により、平成二三年二月二一日(月)一三時から、日本消防会館「ニッショーホール」において、①全国消防団員意見発表会、②消防団等地域活動表彰式、③消防団消防団協力事業所表示証交付式が執り行われました。

今年度は兵庫県では、全国消防団員意見発表会、淡路市消防団 大植和幸団員が「目に焼き付けたあの時の背中」と題して発表するとともに、消防団等地域活動表彰式において、福崎町消防団が受賞しました。

《消防団等地域活動表彰式》

次のいずれかに該当する団体に対して、消防庁長官が表彰し、全国で紹介することにより、消防団活動の一層の推進・活性化を図ることを目的としています。

- ① 平常時の消防団活動に対する重要性にかんがみ、青少年へ
- ② 社会環境の変化により消防団員数が減少している状況を踏まえ、団員確保について特に力を入れている消防団

日本消防協会から災害対策支援金の伝達

県消防協会

《全国消防団員意見発表会》
各地域で活躍する概ね三五歳以下の若手・中堅消防団員が消防団活動に関する課題等についての意見を発表するもので、全国で紹介することにより、消防

平成二三年一月二四日に高砂市阿弥陀町で発生した林野火災により、二九日の鎮火までに焼損面積約一七ヘクタールもの被害を被り、鎮火までの間、高砂市消防団、加古川市消防団、

姫路市姫路東消防団の団員延べ一、一九二人をはじめ各消防機関による懸命な消火活動が行われました。

この度、財団法人日本消防協会から消火活動に従事した消防団員を支援するために災害対策支援金が兵庫県消防協会に交付されました。



義援金を受け取る岸谷会長

支援金の伝達は、平成二三年二月七日に兵庫県災害対策センターにおいて、日本消防協会役員から岸谷会長に手渡されました。



事業所表示証 (ゴールドマーク)

各市町から消防団協力事業所として認定されている事業所のうち、消防庁長官が特に顕著な功績(多くの消防団員を雇用しその活動環境や処遇に積極的に配慮し、災害時には所有する資機材を消防団に提供するなど)が認められる事業所等に対して、「総務省消防庁消防団協力事業所表示証」が交付され、ゴールドマークが送られました。

- 平成二二年度 表示証交付事業所
- 姫路市 ヤエガキ酒造株式会社
 - 株式会社デービー精工
 - 三木市 みのり農業協同組合
 - 小野市 吉川支店
 - 兵庫みらい農業協同組合
 - 小野中央支店
 - 南あわじ市 小野中央支店
 - 三洋エナジー南淡株式会社
 - 淡路市 ミツ精機株式会社
 - 淡路日の出農業協同組合
 - たつの市 ダイセル化学工業株式会社
 - 播磨工場

総務省消防庁消防団協力事業所に 兵庫県から八事業所が新たに認定

- 当日プログラム
- (第一部) 全国消防団員意見発表会
 - 挨拶(消防庁長官)
 - 審査員紹介
 - 審査内容説明
 - 意見発表
 - (消防団員二一名)
 - (第二部) 消防団協力事業所表示証交付式・消防応援団激励メッセージ
 - 消防団協力事業所表示証交付式
 - 消防応援団激励メッセージ
 - (水前寺 清子)
 - 八王子消防団音楽隊演奏会
 - 意見発表会審査結果発表・好評
 - (第三部) 消防団等地域活動表彰式



消防団協力事業所表示証交付式

- 及び全国消防団員意見発表会表彰式
- 激励演出
 - 消防団等地域活動表彰
 - 意見発表会表彰
 - 来賓祝辞(日本消防協会会長、全国消防協会会長)
 - 受賞者代表謝辞

兵庫県が阪神・淡路大震災の教訓を生かした助け合いの制度

兵庫県住宅再建共済制度

フェニックス共済

【共済負担金】

住宅再建共済制度
年額 5,000円

住宅所有者が加入



【共済給付金】

給付金	給付対象	給付額
再建等給付金	全壊・大規模半壊・半壊で建替・再建	600万円
補修給付金	全壊で補修	200万円
	大規模半壊で補修	100万円
	半壊で補修	50万円
居住確保給付金	全壊・大規模半壊・半壊で補修せず、賃貸住宅に迁入した場合等	10万円

(注) 1 県外で再建・購入の場合は給付額は1/2
2 賃貸住宅等は、県内での再建等のみに給付し、居住安定確保給付金は給付対象となりません。

※ マンションの共用部分について、管理組合が1棟単位で加入できる制度もございますので、下記までお問い合わせください。

もうご加入いただきましたか？

皆さん、「フェニックス共済」への加入はお済みですか？この制度は兵庫県が阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、創設したものです。平成21年8月の台風第9号の豪雨災害では、制度創設以来、初給付を行い、被災加入者から住宅再建に役立つとの喜びの声が届いています。いざというときのわが家の安全・安心のためにも、ぜひご加入ください。

NEW 家財再建共済制度 8月1日より開始

加入者	県内の住宅に居住している方(住宅を所有している方又は賃貸住宅の借主など)		
対象	県内の住宅に存する家財(ただし、1戸の住宅に存する家財につき1加入)		
対象災害	あらゆる自然災害(地震、台風、豪雨、豪雪、津波、暴風、落雷等)		
被災の判定	市町が実施する住家の被害認定(り災証明書)による		
共済負担金	年額1,500円(住宅再建共済制度とあわせて加入の場合は年1,000円。)		
共済給付金	区分	給付額	被災住宅に存する家財を補修又は購入した場合に給付
	全壊	50万円	
	大規模半壊	35万円	
	半壊	25万円	
	床上浸水	15万円	

みんなで入ろう互助年金

消防互助年金



【消防の仲間が支える互助年金】

人生80年時代！老後の準備は怠れません
消防関係者一人ひとりの老後を充実させます

- ・会議などの際に、お呼びいただければ(財)日本消防商会の職員が説明に伺います
- ・費用は無料ですし、些少ですが会議費を助成致します
- ・消防互助年金制度説明用ビデオの貸し出しをしております

老後は良くしよう
問い合わせはフリーダイヤル 0120-658-494

消防団 今昔

77

地元へ恩返し
するために...

三木市消防団 副団長
山崎 大志



三木市は、古い歴史と自然に恵まれ、播磨風土記には、億計、弘計二皇子の古代ロマンの物語が記されています。また、戦国時代には、東播八郡二四万石を領した別所氏の居城があり、三木合戦によって荒廃した町は、豊臣秀吉の復興策によって商工業が活発化し、今日の金物産業の発展の基礎をつくりました。

わがまちの団長さん

175

頼もしい団長

市川町消防団長
花桐 司



市川町は、兵庫県の中央からやや南西に位置し、町のほぼ中央を南北に流れる市川を中心として開けています。また古くから播磨富士の名で知られる笠形山(標高九三九m)が町の北東部に位置し、山麓には長い歴史を伝

本市の消防団は、昭和二九年七月の三木市発足と同時に、従来の三木町、別所村、志染村、細川村、口吉川村の消防団を統合して三木市連合消防団が組織されました。昭和三八年一〇月には、指揮統制の一本化を図るため、三木市連合消防団を発展的解消して三木市消防団が発足し、その後、平成一七年一〇月二四日に吉川町との合併により、三木市消防団三八分団に統合整備され、現在に至っています。

私は、今から四半世紀も前の昭和六二年に入団し、志染機動隊に籍を置いていました。当時の風習として、長男は皆、消防団に入団することが当たり前のようになっていきましたが、私は大阪の大学へ行き、就職も大阪でしたので、同年代の人より入団時期が少し遅れていたと思います。

える笠形神社や笠形寺などがあり、一年を通して県内外から多くのハイカーが訪れています。花桐団長は、平成元年四月に入団以降、持ち前の正義感と熱意で分団長、副団長を務められた後、平成二二年四月に第二八代団長に就任され、二六分団、六〇〇名の団員の先頭に立ち、地域の安全と安心を守るため日夜努力されています。

入団当初に家業を継ぎましたが、大阪営業所勤務のため、平日の昼間の活動には、ほとんど参加することが出来ず、休日や夜間のポンプ操法などの訓練には参加し、機動隊員としての技術向上に努めたものです。

一九年間の在職中に印象に残っている活動は、一九九五年一月の阪神淡路大震災の時のことです。自宅が罹災し、勤務先の情報が入ってこなかったため、大阪へ車で出かける時、高速道路は通行止め、大阪に到着したのは夜の八時でしたが、勤務先は被害もなくひと安心しました。大阪への道中、この地震の被害の大きさを眼にし、三木市にあるグリーンピア三木が救援物資の受け入れの基地となったことで、消防団にも出動要請があり、私は救援物資の搬入作業を担当

日頃の団長は、規律に厳しい反面、団員への気配りも人一倍細やかで、その人柄は、団員はもとより団幹部からも厚い信頼があります。そんな団長は、いざ災害が発生するとすばやく現場に駆けつ

しました。真冬の屋外での数日間にもわたる活動は、眠気や疲れなどがピークに達しましたが、被災された方々のことを思うと「頑張らねば」と自分に言い聞かせていた当時のことを昨日のことのように思い出します。

平成一八年三月に退団後は、地域住民として地元の消防団活動を見守ってきました。後輩の団員からは、「入る人がおれへん。」「みんな昼間は仕事で、昼間に火事があったら出動でけへん。」「山崎さん、家で仕事しとっ

け、情報収集をすることも先頭にたつて防衛体制を整えるなど、地域住民が安心して暮らせるよう常にリーダーシップを発揮して頑張っています。また、「支えあい、助け合いで築く安心な町づくり」を目標に、地域とともに防災意識を高める消防団」を目指して地元自治会と合同で消火訓練を行うなど、地域住民に密着し信頼される消防団活動を積極的に展開されています。

地区通信

まもりんピック姫路 姫路東地区予選会

姫路市姫路東消防団

てやったら、もう一回、消防団入ってえなあ。」など切実な声をよく耳にするようになり、消防団を取り巻く環境の変化を肌で感じるようになりました。退団してから四年を迎えた平成二二年三月に、副団長への就任依頼があり、いろいろと思索した結果、地元団員の強い要望も後押しし、生まれてこれまでお世話になった地元へ恩返しをする意味もこめて、平成二二年五月一日付けで三木市消防団の副団長に就任することとなりました。人と人とのつながりが希薄になりがちな昨今ですが、消防団の組織力と機動力・チームワークをもって災害活動だけでなく、

私たちが姫路東消防団は、姫路市北東部に位置し、市内一九の小学校区を管轄しています。現在は、坪田裕団長以下二〇分団六九一名で活動しています。災害出動や訓練に日夜励むかわら、地域行事への参加など、地域の住民とのふれ合いにも日々努めています。去る平成二二年一〇月三十一日(日)、陸上自衛隊姫路駐屯地体育館にて、消防防災運動会、通称「まもりんピック姫路」の姫路東地区予選会が行われました。まもりんピックとは、各種災害を想定した消防防災ゲームや競技等を運動会形式で開催することにより、住民自らが楽しみながら消防防災技術を取得し、お互いに助け合う力を養い、自主防災の輪を拡げ「安全安心都市 姫路」を構築することを目

地域コミュニティの一役を担う消防団として、若い人達にも消防団活動を理解していただき、志染地区二〇二名の長として、これまでの経験を活かし若手消防団員の指導育成に努めていきたいと考えています。三木市消防団には、八つの機動分団が設置されており、市内全域の災害に出動しています。私達の地域を管轄する志染機動隊に、平成二二年九月、総務省消防庁から無償貸付を受けた消防団救助資機材搭載型車両が機動隊車両として更新配備されました。三木市で唯一の救助資機材を有する機動隊として、消火活動に加え大災害時の救助活動に対応



水バケツリレー

三月六日(日) 姫路市立中央体育館で行われる本大会に出場しました。このように、消防団は地域の防災リーダーであり、その活躍は地域の防災力の向上に大いに貢献しています。平成二二年一月一七日に発生した阪神・淡路大震災では、被害が広範囲におよび、防災機関だけの対応には限界が生じ、多くの地区で救援の手が届きませんでした。そうした中、地域住民が助け合い消火や人命救助を行



訓練風景



優勝の野里地区自主防災会

い、被害の軽減に努めました。このことを教訓として、住民による「自助・共助」の必要性を訴えるとともに、地域防災力の底上げを図るべく多くの自主防災会の結成を促進しました。現在、こうした取り組みは大きく広がりを見せています。私たちが姫路東消防団は地域に密着した消防機関として、また地域の防災リーダーとして、自主防災会の育成に努めていきます。

故郷を歩く

清和源氏発祥の地

川西市消防団

兵庫県の南東部に位置する川西市は、市の東部と北部が大阪府と隣接する府県境にある市で、昭和二九年八月に三町村の合併により誕生しました。大阪や神戸の都市圏にある自然環境に恵まれた良好な住宅地として脚光を浴び、昭和四〇年ごろか

ら市中北部を中心に大規模団地の開発が進み、いわゆる「住宅都市」として発展してきました。地形は南北に細長く伸び、北部は山岳の起伏に富み、その一部は猪名川溪谷県立自然公園に指定されています。

川西市は、源氏と武士社会の



黒川・国崎地区の里山

もとになつた人物といわれる源満仲が、中部の多田の地を本拠に有力な武士団の基礎を築いたことから、清和源氏発祥の



源氏まつり

地として伝えられています。この満仲が建立した多田神社(当時は多田院)周辺では、毎年四月、源満仲や巴御前などの武者、鎧甲の源氏ゆかりの武者、少年少女武者など総勢約六〇〇人が華麗な時代絵巻を繰り広げる「源氏まつり」が開催されます。

見せてくれます。

豊かな自然と悠久の歴史に包まれた市の南北には、猪名川が流れ、市北部の黒川・国崎地区には「日本一の里山」といわれる生きた里山が広がります。これら里山の魅力や自然を満喫

できる施設として、県立一庫公園のほか、湖などがあり、季節ごとに異なる景色を

市中部の平野地区では、明治時代に炭酸水の異称として知られる「平野水(平野鉱泉)」が作られ、大正時代には国内初の本格的な炭酸飲料水(現在の三ツ矢サイダー)工場が造られました。

また、文化財としては、市南部に弥生時代の大規模環濠集落跡であり、国の史跡指定を受けた「加茂遺跡」や、ここ数年

寒さもようやく衰え、日増しに春らしくなってきました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。花粉症の方にとっては辛い季節になりました。

編集後記

さて、今月号では、記事のボリュームを増やし六ページ構成にしました。また今月号の一面、二面、三面には総務省消防庁、(財)日本消防協会の表彰式について掲載しております。また今月号へも各地区から多数寄稿いただき、ありがとうございます。

今月号で平成二二年度分の兵庫消防は最終号となりました。これまでの皆様方からの多数のご寄稿、ご愛読に対し、厚くお礼申し上げます。

「兵庫消防」は来年度もますます充実した紙面を目指してま

の調査から古墳時代の有力豪族の墓と言われている前方後円墳の「勝福寺古墳」など歴史ロマンを感じさせるスポットが点在しています。

さて、川西市消防団は市制施行の昭和二九年に三〇分団、団長以下総勢六七二名の団員で発足しました。その後、消防の近代化をめざし消防団の再編成を行うとともに、平成五年には女性消防団を設立しました。

現在の消防団は団長以下三八一名(女性消防団員一八名含む)の団員と、消防ポンプ自動車二台、全自動小型動力消防ポンプ付積載車一〇台、小型動力消防ポンプ付積載車一八台、指揮車一台で構成され、日々訓練を重ね、複雑多様化する火災や自然災害から市民の生命と財産を守るため日夜の別なく、出動し活躍しています。

いりますので、よろしくお願いたします。

みなさまのご寄稿をお待ちしております。

【お詫びと訂正】

「兵庫消防」平成二三年二月一五日発行第六二八号の「突撃取材！神戸市が消防団健康教室」において、参加された消防団員の方の氏名を誤って記載しておりました。

深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり修正いたします。

正 兵庫消防団の大崎さん (誤 兵庫消防団の大橋さん)

【事務局からのお知らせ】

「兵庫消防」四月号は休刊させていただきます。

われら若手消防団員

(37)

地域で守る地域の安心

養父市消防団

関宮第五分団

北 薊

智



私は養父市の消防団に所属しております。

養父市は兵庫県の北部、但馬地方にあり四、二二平方キロメートルという面積がありますが、人口は二〇一一年現在二六、〇〇〇人程度と多くはあ

りません。養父市のほとんどは山で占められ、山あいの川沿いに人々が住んでおり、居住地の分布範囲はとて広く、各地域へのアクセスにも時間がかかります。また、お年寄りが多く、「火災や水害などが起きた場合はどうすればいいのかわからない」と不安に思っている方も多くいると思います。

我々養父市消防団は、このよ

うな地域であるからこそ自らが重要な存在であると自負し、日々活動を行っております。各分団はもちろんその地元の方で構成されており、団員は土地勘が十分に有り、有事の際は効率的に現場に駆けつけ活動しま

す。また、防災活動のみならず、地域の催し物や奉仕作業などにおいても消防団のメンバーで集まり、地域活動に参加します。このように消防団は非常に重要な存在ですが、我々の地域は比較的若者が少なく、団員数の維持に各団苦勞されていることと思ひます。一つの大きな問題とは思われませんが、活動していく上で若い方々に消防団の重要性、素晴らしさを伝えられればと思っております。

今後とも日頃の訓練・活動を行い、消防本部・消防署、そして地域住民の方と共に、我々の安全と安心を維持していきたいと考えております。

平成23年消防出初式日程表(4、5月実施分)

地区	実施日	市町名	開始時間	場 所
阪神地区	4月3日(日)	三田市	9:30	三田市総合文化センター駐車場
		西脇市	9:00	西脇市民会館
北播磨地区	4月3日(日)	加東市	9:30	加東市やしろ国際学習塾
		多可町	9:00	多可町中央公園グラウンド
	4月10日(日)	小野市	8:45	小野市民会館
	4月17日(日)	加西市	10:00	加西市民会館
中播磨地区	4月3日(日)	三木市	9:30	未定
		神河町	8:30	神崎中学校グラウンド
		西播磨地区	4月3日(日)	宍粟市
佐用町	10:00	南光スポーツ公園 若あゆ第2グラウンド		
但馬地区	4月3日(日)	養父市	8:30	養父市立ノビアホール
		朝来市	9:00	朝来市和田山ジュピターホール
	4月17日(日)	新温泉町	9:00	浜坂すこやか広場
		豊岡市日高	9:00	日高総合支所前駐車場
4月24日(日)	香美町	9:00	香住第一中学校グラウンド	